

2017年度 改訂版(8月より)

がん哲学外来は「病気であっても病人ではない」
がん体験者だからこそできることがある。
その人らしい生き方の探求を目指し、「カフェスタイル」
で全国に広がっています。
一般的な外来診療とは異なります。

がん哲学外来



坂の上の雲 暖だんカフェ

患者さん、ご家族、友人、医療介護福祉関係者、サポートスタッフが集まり、お茶を飲みながら、気軽に対話できるサロン形式のカフェです。それぞれの立場を超えて、同じテーブルを囲み、ともに寄り添い語らいます。また、院長による個別面談の機会もあります。

対象：どなたでもご参加いただけます

**場所：患者・家族総合支援センター 暖だん
憩いのひろば**

時間：13時30分～15時

2017年	8月10日(木)	9月14日(木)
	10月11日(水)	11月25日(土)
	12月14日(木)	
2018年	1月10日(水)	2月14日(水)
	3月8日(木)	

申込不要
参加費無料
個別面談(2名まで、予約不要)

第3期がん対策推進基本計画(概要)

第1 全体目標

「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す。」

①科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 ②患者本位のがん医療の実現 ③尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

第2 分野別施策

1. がん予防	2. がん医療の充実	3. がんとの共生
(1)がんの1次予防(※) (2)がんの早期発見、がん検診 (2次予防) (※)受動喫煙に関する目標値等については、受動喫煙対策に係る法案を踏まえて別途閣議決定する予定。	(1)がんゲノム医療 (2)がんの手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法 (3)チーム医療 (4)がんのリハビリテーション (5)支持療法 (6)希少がん、難治性がん (それぞれのがんの特性に応じた対策) (7)小児がん、AYA(※)世代のがん、高齢者のがん (※)Adolescent and Young Adult: 思春期と若年成人 (8)病理診断 (9)がん登録 (10)医薬品・医療機器の早期開発・承認等に向けた取組	(1)がんと診断された時からの緩和ケア (2)相談支援、情報提供 (3)社会連携に基づくがん対策・がん患者支援 (4)がん患者等の就労を含めた社会的な問題 (5)ライフステージに応じたがん対策
4. これらを支える基盤の整備 (1)がん研究 (2)人材育成 (3)がん教育、普及啓発		

第3 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 関係者等の連携協力の更なる強化 | 5. 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化 |
| 2. 都道府県による計画の策定 | 6. 目標の達成状況の把握 |
| 3. がん患者を含めた国民の努力 | 7. 基本計画の見直し |
| 4. 患者団体等との協力 | |

がん相談支援センターにおける就労に関する相談対応 がん相談支援センターについて

【受付時間】 8時30分～17時15分 (土曜日・日曜日・祝日除く)

【相談形式】 対面相談・電話相談

【対象】 がん患者さん、ご家族、一般の方、医療関係者など

【相談にあたる職種】

看護師

医療ソーシャルワーカー(がん専門相談員)

その他にも
臨床心理士
認定遺伝カウンセラー等が
対応

【相談の内容と対応例】

がん治療や検査、症状、副作用についての対応や情報提供

告知後の不安や漠然とした不安等への心理的サポート

主治医やスタッフとの関係性の調整

経済的な相談の対応

介護や障害に対する保障制度の説明

職場との関係や休職、復職等の就労に関する支援

がんに関するあらゆる相談に対応



就労に関する相談件数

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
全相談件数	9,860	9,566	9,502
就労関連	32	38	42



3

就労に関するセミナー・研修会の開催

	医療関係者・職場関係者・就労関係者向け企画	患者向け企画
H24年度	①がんと就労～治療スタッフと職場の連携の必要性～ ②就労相談支援スキルアップセミナー ～治療と職業生活の両立に向けて～	
H25年度	①働くがん患者を支えるために ～病院・職場関係者にできること～ ②がんと就労の両立 ～医療機関と職場の連携に向けて～	①患者のわたしにできること ②就労Ring ～乳がん治療をしながら働くことについて、 一緒に考えてみませんか？～
H26年度	①就労相談支援スキルアップセミナー ～治療と職業生活の両立に向けて～ ②(社会保険労務士、ソーシャルワーカーのための) がん経験者就労支援セミナー ～治療と職業生活の両立に向けて～ ③がんと就労～がん患者の「働きたい」を支えるために～	①MSWに聞こう！ がんとお金のこと ②憩いのサロン ナイトサロン ～働く患者さんと家族のためのサロン～
H27年度	①がん患者さんの「働きたい！」をサポートするためにできること ～愛媛県における就職支援モデル事業の取り組みについて～	①がんとお金・仕事 知って得するみんなの制度 ②憩いのサロン ナイトサロン
H28年度	がん患者さんの「働きたい」を支えるために ①社会保険労務士と病院ができること ②地元企業と拠点病院ができること ③それぞれの立場で考えるがん患者への支援	①がんとお金・仕事 知って得するみんなの制度 ②憩いのサロン ナイトサロン

平成28年度 四国がんセンター就労支援セミナー開催の概要

“がん患者さんの「働きたい！」を支えるために”をテーマに医療・地域・企業の関係者を対象として実施

①社会保険労務士対象

(参加者：91名)

- 愛媛県社会保険労務士会でのセミナー開催
- がんの動向や知識提供
- 映像教材上映「がん治療と仕事の両立～もしも、職場の誰かががんになったら～（東京都保健福祉局）」

3回シリーズのセミナー（導入・実践・振り返り）

②企業（明屋書店の中間管理職）対象

(参加者：延べ 107名)

- がんの基礎知識・就労支援の必要性理解
- 具体的な支援のイメージ化（グループワーク）
- 面談ロールプレイ
- 職場での取り組み実践、成果発表会



③患者・社労士・企業関係者・医療関係者・行政対象

(参加者：55名)

- 国の取り組みと地域の取り組みに関する情報提供
- それぞれの立場でできる支援の共有



結果 セミナー後にアンケートを実施。各立場でできることや意見、感想を確認

①社会保険労務士対象

- 労働問題、社会保険・手当等に関することを情報提供する
- 支援の取り組みを企業へ情報発信する

②企業（明屋書店の中間管理職）対象

- 社会保障示度・就業規則を理解し、就業規則の見直しが必要
- 社員全員が理解して支援することが必要である
- 会社・上司としてサポートする必要性を痛感した
- 実際に相談に来られた時にどう声かけてあげるとよいか分からなかったが、良い機会になった
- 事例が発表され、意識が高まっている。継続して、次代に教育する仕組みが必要に感じる

③患者・社労士・企業関係者・医療関係者・行政対象

- 会社で就業規則の見直しを行いたい（企業関係者）
- 院内のシステムを整備したい（病院関係者）
- 就労・就職支援の相談窓口があることを患者さんへ情報提供したい（ケアマネジャー）
- 職場における病気についての理解不足がある。情報共有したい（行政）

病気（がん）を持つ就労者が仕事と治療の両立ができるよう支援する必要性を認識

厚生労働省事業

1) 長期療養者就職支援事業

【目的】

ハローワークががん診療連携拠点病院等と連携し、がん、肝炎、糖尿病等の疾病により、長期にわたる治療等のために離職を余儀なくされたがん患者等に対する就職支援事業を実施し、がん患者等の就職支援に関するノウハウ・知見の蓄積を図る。(平成25年にモデル事業として全国5都県で開始し、平成28年度に本事業に移行。現在は全国47都道府県で実施)

【愛媛県の場合】

平成25年7月から開始

ハローワーク松山で就職支援ナビゲーターが無料で相談を受けている

【四国がんセンターでの就職・転職に関する相談】

- ハローワーク松山の就職支援ナビゲーターが出張相談を実施
- 毎週水曜日10:00~15:00
※相談所要時間
初回相談・・・1時間程度
1回目以降・・・30分程度
- 原則予約制

～就職・転職を考えている方へ～
「働きたい！」がん患者さんをサポートします
毎週水曜日10:00~15:00

患者・家族総合支援センターにて、ハローワーク松山の就職支援ナビゲーターが無料で就業相談を行っています！

厚生労働省事業

2) 産業保健総合支援センターにおける両立支援事業

【両立支援相談窓口等での相談対応(出張相談)】

医療機関等に設置される相談窓口で、がんなどの患者(労働者)、事業者(企業)、人事労務担当者、産業医、保健師等産業保健スタッフからの両立支援に関する相談に対応する。

※厚生労働省から平成28年2月23日に公表された『事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン』の示すところにより、産業保健総合支援センターに両立支援促進員を配置。

【四国がんセンターでの出張相談】

- 平成28年9月から開始
- 愛媛産業保健総合支援センターの両立支援促進員(社労士)が出張相談を実施
- 毎月第3水曜日10:00~13:00
- 相談時間: 30分から1時間
- 原則予約制

就労支援に関する厚生労働省事業

平成25年度（厚生労働局）：

長期にわたる治療等が必要な疾病をもつ求職者に対する就職支援モデル事業
 ※就職ナビゲーターが就職に関する相談を受ける

平成28年度（NHO労働者健康安全機構）：

事業場における治療と職業生活の両立支援に係る事業
 ※両立支援員（社会保険労務士）が就労に関する相談を受ける



	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (8月31日現在)
ハローワーク (件)	28	26	13
産業保健総合 支援センター (件)		11	7

9

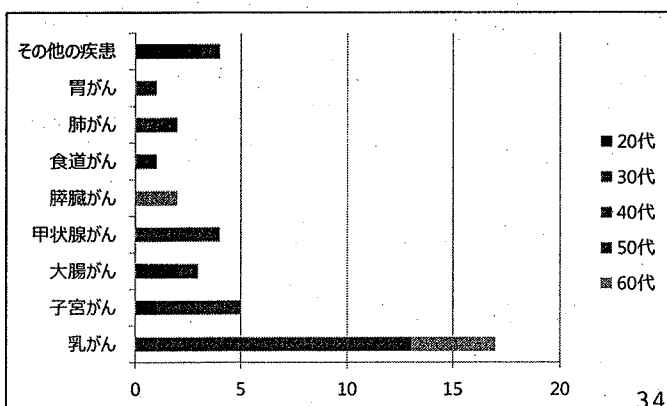
就職支援事業の実績

四国がんセンター内での出張相談（平25年7月～平成29年9月）

- 相談者数：122名
- 就職者数：40名
- 両立支援に関する相談が増加傾向
- 就職者のがん種別年代別人数



就労継続支援が必要



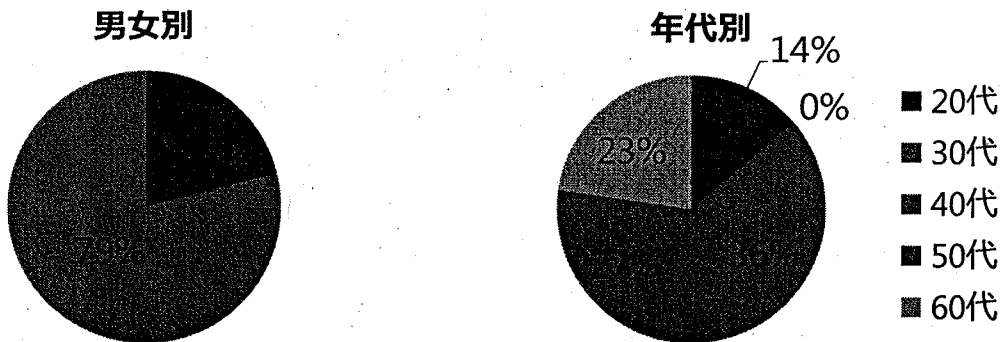
患者さんからは・・・

- ・治療の副作用で体力が低下している
がどんな仕事ができるだろうか
- ・治療しながらどんな働き方ができる
だろうか
- ・病名は伝えた方がいいだろうか
- ・定期的に通院が必要なので、会社に
理解してもらえるか不安

10

就労支援事業の実績

四国がんセンター内での出張相談（平28年9月～平成29年9月） 相談者数19名



- がん種別：乳がん(6)子宮がん、大腸がん、食道がん、すい臓がん、胃がん、腹膜がん、耳下腺がん、甲状腺がん、舌下腺がん、悪性リンパ腫
- 相談内容：治療を受けながら働きたい（6）
治療のための休み方を知りたい（4）
治療中・休職中の保障について聞きたい（傷病手当金）（4）
その他（障害年金について、職場への報告方法）（2）

11

愛媛県地域両立支援推進チームの設置

平成29年7月～

設置目的

地域の実情に応じた治療と仕事の両立支援を効果的に進めるため、愛媛県における関係者のネットワークを構築し、両立支援の取り組みの連携を図ることを目的とする。

事務局

愛媛労働局 労働基準部 健康安全課

メンバー

- 愛媛県 経済労働部産業雇用局 労政雇用課
- 愛媛県 保健福祉部健康衛生局 健康増進課
- 一般社団法人 愛媛県医師会
- 愛媛県経営者協会
- 愛媛県社会保険労務士会
- 愛媛県商工会議所連合会
- 国立大学法人 愛媛大学 医学部附属病院
- 公益社団法人 愛媛労働基準協会
- 愛媛労働局 雇用環境・均等室
- 愛媛労働局 職業安定部
- 独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター
- 公益社団法人 日本医療社会福祉協会
- 特定非営利活動法人 日本キャリア開発協会
- 一般社団法人 日本産業カウンセラー協会
- 日本労働組合総連合会 愛媛県連合会
- 独立行政法人 労働者健康安全機構 愛媛産業保健総合支援センター
- 独立行政法人 労働者健康安全機構 愛媛労災病院

取り組み内容

- ・愛媛県における両立支援の推進、周知
- ・企業・労働者・患者が利用できる相談窓口の一覧表作成
- ・リーフレット、両立支援ホームページを作成
- ・両立支援にかかるイベントの開催、協力、周知
- ・冊子・パンフレット等の共有・周知
- ・県内における両立支援コーディネーターの周知等

病気をしても 働くために

参加無料
定員150名
申込締切
11月28日必着

～治療と仕事の両立支援～講演会

【日時】2017年12月3日(日) 13:30～16:30

【会場】愛媛県医師会館 4階 会議室

松山市三馬町4-5-9

【講演者】 宮内 文久 (徳島県古見東安全病院 看護部長/院長)

【講演者】 清本 朝孝 (徳島労働局長)

【講演者】 「治療と仕事の両立支援の推進について」

三好 剛史 (徳島労働局 労働監督官/徳島県労働局長)

【講演者】 「愛媛県産業保健総合支援センターの取組～治療と仕事の両立支援について～」

米子 真理 (愛媛県労働局労働安全健康センター 両立支援係長)

【講演者】 「企業を対象とした取組」

藤野 威人 (高松がんセンター 部長/愛媛県がんセンター長)

【講演者】 「多様な就労支援について」

宮内 文久 (徳島労働局長)

【時間】 14:55～15:10

【講演者】 「かかりつけ医の取組」

今川 俊一郎 (一般社団法人愛媛県医師会 会長)

【講演者】 「学業主としての取組」

藤原 隆雄 (徳島労働局労働安全健康センター 代表取締役)

【講演者】 「肝疾患と就労支援」

日浅 博一 (徳島労働局労働安全健康センター 両立支援係長)

【主催】 徳島県医師会



本講演は、日本経済団体連合会(経団連)の「生涯学習」部門の取組として開催されます。
お申し込みをお願いいたします。

【お問い合わせ】 愛媛労働病院 総務課
〒792-3505 愛媛県新居町小松原1-2-37
TEL:0897-33-6114/FAX:0897-33-6169

【主催】 愛媛労働病院 【協賛】 愛媛県産業保健総合支援センター
【後援】 愛媛労働局・愛媛県医師会(予定)

愛媛県がん診療連携協議会

お問い合わせ サイトマップ



愛媛県がん診療連携協議会会長あいさつ

愛媛県がん診療連携協議会について

専門部会について

協議会・専門部会の参加について

トップページ 専門部会について がん相談支援専門部会 活動実績 議事録

専門部会について

がん相談支援専門部会：活動実績
議事録

平成29年度

[第1回がん相談員研修会活動実施報告書2017.07.08 \(PDF:282KB\)](#)[第1回がん相談員研修会アンケート調査2017.07.08 \(PDF:594KB\)](#)[第1回がん相談員研修ワーキング議事録2017.4.27 \(PDF:324KB\)](#)

平成28年度

[第5回愛媛県がんサロン担当者の交流・検討会開催報告書2017.2.10 \(PDF:193KB\)](#)[第2回がん相談支援専門部会活動実施報告書2017.1.14 \(PDF:255KB\)](#)[第2回がん相談員研修会アンケート調査2017.1.14 \(PDF:493KB\)](#)[第2回がん相談支援専門部会2016.12.3\(PDF:89KB\)](#)[第2回がん相談員研修ワーキング議事録2016.11.1\(PDF:299KB\)](#)[第1回がん相談支援専門部会2016.7.23 \(PDF:115KB\)](#)[第1回がん相談支援専門部会活動実施報告書2016.5.21\(PDF:451KB\)](#)[第1回がん相談員研修会活動及びアンケート調査報告書2016.7.9\(PDF:724KB\)](#)[第1回がん相談員研修ワーキング議事録2016.5.24 \(PDF:299KB\)](#)

平成27年度

[第2回がん相談員研修会活動及びアンケート調査報告書2016.2.26\(PDF:641KB\)](#)[第2回がん相談支援専門部会2015.12.5 \(PDF:191KB\)](#)[第2回愛媛県がん相談員研修ワーキング2015.11.12 \(PDF:271KB\)](#)[第1回がん相談支援専門部会2015.7.25 \(PDF:280KB\)](#)[第1回愛媛県がん相談員研修会活動報告2015.7.7 \(PDF:255KB\)](#)[第1回愛媛県がん相談員研修ワーキング2015.6.26 \(PDF:176KB\)](#)

平成26年度

[第1回愛媛県がん相談員研修ワーキング2015.2.26 \(PDF:266KB\)](#)[サロン交流会・検討会2015.2.10 \(PDF:142KB\)](#)[第2回愛媛県がん相談員研修会報告2015.1.16 \(PDF:295KB\)](#)[第2回がん相談支援専門部会2014.12.6 \(PDF:438KB\)](#)[第2回愛媛県がん相談員研修ワーキング2014.11.11 \(PDF:195KB\)](#)[第1回がん相談支援専門部会2014.8.2 \(PDF:165KB\)](#)[第1回愛媛県がん相談員研修会活動報告2014.7.8 \(PDF:274KB\)](#)[第1回愛媛県がん相談員研修ワーキング2014.4.22 \(PDF:192KB\)](#)

平成25年度

[第3回愛媛県がん相談員研修ワーキング2014.3.11 \(PDF:174KB\)](#)

専門部会について

がん地域連携専門部会

活動方針・目的

年度計画

活動実績

セミナー・研修会

緩和ケア専門部会

活動方針・目的

年度計画

活動実績

愛媛県緩和ケア研修会PEACE

がん相談支援専門部会

活動方針・目的

年度計画

活動実績

議事録

抄録・学会報告・冊子等

セミナー・研修会

がん登録専門部会

活動方針・目的

年度計画

活動実績

セミナー・研修会

がんの集学的治療専門部会

活動方針・目的

年度計画

活動実績

セミナー・研修会

がん看護専門部会

活動方針・目的

年度計画

活動実績

セミナー・研修会

愛媛県がん診療連携協議会
参加施設のご紹介

[第2回がん相談員研修会活動報告2014.1.21 \(PDF: 202KB\)](#)









[第2回愛媛県がん診療連携協議会分科会2013.12.7 \(PDF: 247KB\)](#)

[第2回がん相談員研修ワーキング打ち合わせ2013.11.15 \(PDF: 111KB\)](#)

[第1回愛媛県がん診療連携協議会分科会2013.7.27 \(PDF: 260KB\)](#)

[第1回愛媛県がん相談員研修会活動報告2013.7.19 \(PDF: 222KB\)](#)

[第1回愛媛県がん相談員研修会2013.6.18 \(PDF: 147KB\)](#)

-  [愛媛県](#) 
-  [愛媛県がん診療連携協議会がお勧めする
役立つサイト情報](#) 
-  [患者・家族総合支援センター](#) 
-  [がん登録でみる愛媛県のがん診療](#) 

「がん相談支援専門部会」議事録

日時	平成 29 年 12 月 2 日 (土) 13:00~14:50			
場所	四国がんセンター 地域医療連携研修センター3階休憩室			
出席者 (30名)	愛媛大学医学部 附属病院	塩見 (副部長)、亀岡、 合田、池田	愛媛県立中央病院	村上、外山、季羽、平野、 渋谷
	済生会今治病院	久保田、酒井	松山赤十字病院	三好、河野
	住友別子病院	和田	市立宇和島病院	沼田
	済生会西条病院	森	十全総合病院	溝渕
	済生会松山病院	平岡、中村	HITO 病院	高橋、加藤、河村
	市立八幡浜総合病院	高橋	松山市民病院	三谷
	四国中央病院	松永	四国がんセンター	灘野 (部長)、大西、 関木、篠原、福島
記録者	住友別子病院	和田		

議事要旨

1. 開会・部会長挨拶

1) 第3期がん対策推進基本計画の概要について (資料参照)

資料をもとに抜粋して報告があった。

2) 平成30年度地域相談支援フォーラムについて

香川県がん診療連携協議会相談支援部会の企画が採択された。

テーマ:「がんになってもその人らしい選択を支えるために一相談支援・情報提供の架け橋」

四国四県での開催を調整されている。詳細内容については検討中である。

2. 各ワーキンググループの活動報告

1) がん相談員研修ワーキング

①相談員指導者研修の参加報告

参加: 1グループ (3名) /県

和田 (住友別子病院)、松岡 (済生会今治病院)、福島 (四国がんセンター)

6月29日、11月2・3日 (3日間) 研修企画、ファシリテーションスキル、企画立案に必要なスキルについての講習後、都道府県における課題を抽出し研修の企画立案。

指導者研修にて作成した研修企画は来年度第1回相談員研修 (7月開催予定) にて実施調整中。

※指導者研修: 隔年 (奇数年) 開催

次回: 2019年開催予定【2日間】

②「相談対応の質保証 (QA: Quality Assurance) を学ぶ」研修

※別紙参照: 認定がん相談支援センターの認定要件、がん相談対応モニタリング

国立がん研究センターがん対策情報センターから研修を企画開催する地域へ講師派遣が可能。

講師派遣期間: 平成30年度~32年度

次年度講師派遣申込み: 平成30年1月開始予定

申し込み要件:

・上記派遣期間のうち1回に限る

- ・旅費・謝金は国立がん研究センターで負担
- ・複数県での共同開催および他県からの受講者受け入れを可とする企画を優先
- ・講義+グループワークを研修形態とし、研修時間 4 時間以上の確保が必要
- ・受講者数は 20 名以上 50 名程度までを目安
- ・1 グループは受講者上限 7 名程度（ファシリテーターを除く）の編成とする
- ・グループファシリテーターは各都道府県で確保する

上記、条件があるため、受講歴のある相談員からの情報も参考に、ワーキングメンバー等は来年度前期に国がんや地方で行う QA 研修会に積極的に受講しファシリテーターの準備が必要。

③がん相談員研修会

平成 29 年度第 2 回がん相談員研修会（応用編）

日時：平成 30 年 1 月 27 日（土）受付：13:00～ 開始：13:20～16:30

場所：愛媛県立中央病院 講堂 ※詳細は後日連絡

対象：県内のがん診療連携拠点病院、がん診療連携推進病院に所属するがん相談員 20 名程度

※ 原則、相談員研修(1)・(2)受講済の相談員

※ 認定がん専門相談員Ⅲ群登録申請中

平成 30 年度がん相談員研修会（予定）

※ 相談員研修ワーキングにて再度検討を行い、決定後通知予定。

第 1 回（案）：平成 30 年 7 月、場所：住友別子病院

テーマ『東・中・南予をみんなで支えるけん！～地域を超えた相談支援～』

第 2 回（案）：平成 31 年 1 月～2 月（予定）

テーマ「相談対応の質保証（QA：Quality Assurance）を学ぶ」

2) サロン担当者交流・検討会ワーキング

①平成 29 年度（第 6 回）サロン担当者の交流・検討会のお知らせ

日時：平成 30 年 2 月 8 日（木）13:00～15:30

場所：四国がんセンター

※例年通りピアサポーターとの情報交換を予定している。ただ、ピアサポーター派遣事業元としての参加以外にも「町なかサロンの担当者」でもあるため、オブザーバーとしての参加ではなく「サロン担当者」として交流・検討会に参加して頂けるよう、愛媛がんサポートおれんじの会（松本氏）へ相談中。

3) チェックリストワーキング

①平成 29 年度チェックリストの実施について

昨年度に引き続きがん相談支援センター活動の PDCA サイクルの一環として、チェックリストを用いた評価を実施する。目的・目標等は以下の通りである。

I. 目的

がん相談支援センター活動の PDCA サイクルを確保し、県内全体のがん相談支援の機能強化と質向上を目指す

II. 平成 29 年度の活動目標

1. 平成 28 年度に作成および修正したチェックリストを用いて、各病院で評価する

2. 各拠点・推進病院で評価した内容をまとめ、県内の現状を把握と昨年度との比較から、課題を

明らかにする

III. 方法・スケジュール

1. 各病院でのチェックリストの実施とアンケートの回答を平成29年12月末までにチェックリストにそって評価する

1) 提出期限：平成30年1月5日（金）17：00

2) 提出先：愛媛大学病院 総合診療サポートセンター 塩見氏

3) 提出方法：EmailまたはFAX、郵送 ※可能ならEmailでデータ添付が望ましい

E-MAIL：mshiomi@m.ehime-u.ac.jp

FAX：089-960-5965 住所：〒791-0295 東温市志津川

2. WGで各病院の結果を集計し、まとめる

1) 1月中に集計

2) 2月中に課題の抽出と来年度の活動の検討

3) 3月中に結果・報告書の配信

4) 広報活動ワーキング

①平成29年度活動報告

1) リレーフォーライフジャパンえひめ2017

9月2日（土）リジェール松山 ※PR活動のみ、出張相談は開催なし

2) えひめ・まつやま産業まつり with メディアパーティ 愛媛すごいもの博

11月18日（土）～19日（日）松山市城山公園 ※PR活動、出張相談あり

次年度以降もリレーフォーライフと愛媛すごいもの博は参加予定

他イベントもあわせ、年2～3回くらいのペースでPR活動をしたい

※中予でのイベント開催が多いため、東予・南予においても持込企画等あれば随時参加検討。

※四国がんセンターでPR活動の旗とはっぴの購入あり、貸し出しOK

3.その他

1) 愛媛県地域両立支援促進チームの取り組みについて

「治療と仕事の両立支援」について特設WEBサイトの開設、チームの設置などの情報提供があった。また県内の相談窓口一覧についても情報提供があり、それには拠点病院、推進病院のがん相談支援センターの窓口も表記されている。

2) 講演会・研修会案内

病気をしても働くために～治療と仕事の両立支援～講演会

日時：平成29年12月3日（日）13：30～16：30

場所：愛媛県医師会館4階会議室

がん看護におけるコミュニケーションスキル

日時：平成30年1月27日（土）12：30～16：10

場所：四国がんセンター 地域医療連携研修センター3階研修室

3) 情報共有・情報交換

各医療機関より相談支援センターについての情報提供があり、情報共有を行った。

4. がん登録専門部会共同、がんサポートサイトえひめについて（報告、別紙参照）

以上

がん登録専門部会・がん相談専門部会

がんサポートサイトえひめ 合同説明会 議事録

日 時	平成 29 年 12 月 2 日 (土)	14:30~14:50
場 所	四国がんセンター	新棟 3 階研修室①
進 行	がん登録専門部会長	寺本 (四国がんセンター)
議事録	がん登録専門部会	山下 (四国がんセンター)
	がん相談専門部会	大西 (四国がんセンター)

1. がんサポートサイトえひめ作成の経緯について(再確認)

- ・理念ではなく、数字や事実に基づいた情報を提供したい
- ・「がんサポートサイトえひめ」は、がん登録情報を提供するサイトである
- ・県の委託という形で補助が出ることになり、協議会の事業として行うことになった

2. ホームページの進行状況について報告

ある程度ホームページの形ができてきた。現段階でのコンテンツについて報告あり

- ・愛媛県の委託事業なので、キャラクターは「みきゃん」を使用。公式感を出した
- ・本サイトのモットーは「はじめての方へ・このサイトについて」に記載
がんと診断されたばかりの人が参考にできる内容、病院選びの助けになるようなサイトを目指す
- ・5大がんと原発不明がん、希少がんや婦人科がんを作成予定
- ・現在、乳腺のページを作成中。完成に近づいている
- ・原発不明がんは、四国がんセンターの青儀先生に担当いただく
- ・臓器別のがん情報以外にも、セカンドオピニオンや相談支援センターなど、患者さんに共通する情報も作成した
- ・妊孕性温存のページについては、愛媛大学産婦人科に文章を依頼中
- ・患者会(おれんじの会)から、文章の推敲や経験者のコメント記載などで協力頂いている
- ・「病院を探す」のページには、先日アンケートでご返答いただいた病院別情報を掲載している
- ・診療数などのグラフには、何を表すグラフなのかコメントを入れる予定
- ・地域別診療数グラフは、絶対数の少ない東予・南予のグラフスケールを変えて表示する

3. 今後の予定

- ・乳腺のページ完成後、随時各拠点病院に臓器ごとのページを担当し作成していただく予定
- ・愛媛県立中央病院に大腸のページ作成を依頼。「病気を知る」で、大腸独自のこういった項目が必要か、「病院を探す」で、スタッフなどの項目も検討して頂きたい
- ・愛媛県立中央病院への依頼以降、どう作業を分担すればよいかを検証する。ただし、他の施設で

- 作成する際も、がん登録情報から得られるグラフ等は、四国がんセンターの方で作成する
- ・患者会の要望として、簡潔でわかりやすい文章、長い文章は読みづらい、「がん」の言葉の多用は控えてほしい、サポーター的な一文を添えてほしいなどがある。作成にあたっての基本事項を記した注意書き(指南書のようなもの)をお渡しする予定
 - ・乳腺のページが完成したら、先行公開予定。ロードマップはまだ示せていないが、できるだけ、早く完成させたい。公開にあたっては皆様の承認を得てからと考えている
 - ・サイト案内用のチラシをできれば1万枚ほど配布したいと考えている。

4. 質疑応答・その他

- ・先日、現段階での仮URLをWGのメーリングリストに送付済み。サイトを開いてみて特にエラーなどの報告はなかった。正確に動作するかなどチェックしてください
- ・全体の意見(デザインなど)や、自施設の情報も含めて、内容のチェックやサイト動作確認はWGメンバーにお願いしたい。コメントはWGのメールリストへお願いします。メーリングリストが難しい場合には、他の質問用のアドレスをお知らせします
- ・スマートフォンでも見られますか → i-phone は動作確認できているが、携帯によるかもしれない。動作確認をお願いします

第46回小児がん中国・四国ネットワーク会議 参加者

平成30年1月6日

広島大学病院	小児科教授	小林 正夫
	小児外科教授	檜山 英三
	小児科講師	川口 浩史
	脳神経外科講師	山崎 文之
	小児科講師	岡田 賢
	小児科助教	唐川 修平
	医療支援グループグループリーダー	佐藤 等
鳥取大学医学部附属病院	小児科助教	奥野 啓介
	小児科助教	佐野 仁志
島根大学医学部附属病院	小児科教授	竹谷 健
	小児科医科医員	小山 千草
岡山大学病院	小児外科教授	野田 卓男
	小児血液・腫瘍科准教授	嶋田 明
	脳神経外科講師	黒住 和彦
	小児科医員	金光 喜一郎
川崎医科大学附属病院	小児科講師	寺西 英人
岡山医療センター	小児外科医長	中原 康雄
倉敷中央病院	小児科部長	今井 剛
	小児科副医長	納富 誠司郎
広島赤十字・原爆病院	小児科部長	藤田 直人
	小児科副部長	三木 瑞香
山口大学医学部附属病院	小児科講師	深野 玲司
	小児科助教	市村 卓也
徳島大学病院	小児科講師	渡辺 浩良
徳島赤十字病院	小児科部長	渡辺 力
香川大学医学部附属病院	小児科准教授	岡田 仁
四国こどもとおとなの医療センター	感染制御対策部長	岩井 朝幸
愛媛大学医学部附属病院	小児科教授	石井 榮一
	小児科准教授	田内 久道
	小児科講師	永井 功造
	小児科助教	森谷 京子
松山赤十字病院	小児科医師	宮脇 零士
	小児科医師	宮本 真知子
高知大学医学部附属病院	小児科准教授	久川 浩章
	小児科特任助教	菊地 広朗
	小児科医員	森下 祐介
高知医療センター	小児診療部長	西内 律雄
	小児病棟看護師	永井 友里
	小児病棟看護師	土居 愛美
兵庫県立こども病院	小児がん医療センターセンター長	小阪 嘉之
	血液・腫瘍内科部長	長谷川 大一郎
	血液・腫瘍内科医長	石田 敏章

※欠席のネットワーク病院：愛媛県立中央病院、九州大学病院

がんの子どもを守る会	広島県支部代表	藤川 京子
	広島県支部	土路生 明美
	広島県支部	小埜 比早江
鳥取県福祉保健部	健康医療局健康政策課保健師	岡田 桂子
島根県健康福祉部	健康推進課がん対策推進室主任主事	進藤 由佳子
岡山県保健福祉部	医療推進課副参事	名越 要介
広島県健康福祉局	がん対策課課長	佐々木 真哉
	がん対策課主査	平井 幸
愛媛県保健福祉部	健康衛生局健康増進課健康政策係担当係長	中田 一郎

広島大学病院	患者支援センター副センター長	和田 良香
	がん治療センター看護師	笹木 忍
	病歴管理センター診療情報管理士	上田 友紀
	医療支援グループ副グループリーダー	山野 美代子
	医療支援グループ主査	吉村 聖香
	医療支援グループグループ員	辻 友香梨

第46回（平成29年度第8回）小児がん中国・四国ネットワーク会議議事要旨

日時 平成30年1月6日（土） 13:30～14:45

場所 広島大学病院臨床管理棟3階大会議室

出席者 別紙参加者名簿のとおり

会議の開催に先立ち、小林議長（広島大学病院小児科教授）から開催挨拶があった後、司会（広島大学病院医療支援グループ佐藤グループリーダー）から、本日の配布資料の確認並びにがんの子どもを守る会広島県支部及び各行政機関（鳥取県・島根県・岡山県・愛媛県・広島県）の出席者の紹介があった。

議 題

1. 小児がんの子どものためのサポートブックの発行について

小林議長から別紙1に基づき、小児がん拠点病院の事業の一つとして北海道大学病院が作成した「小児がん患者さんとご家族のためのサポートブック」について紹介があり、今年度の事業として、中国・四国ブロックでも同様のサポートブックの作成を企画していることについて説明があった。

また、中国・四国版の作成にあたり、各自治体の情報収集等の準備を進めている相談支援部会での準備状況について、広島大学病院 笹木看護師から説明があり、年度内の完成に向けて、引き続き各施設にご協力いただくよう依頼があった。

2. 小児がん患者の在宅に必要な物品、医療機器について

島根大学医学部附属病院 竹谷教授から別紙2に基づき、小児がん患者がスムーズに在宅移行できるために必要な物品等に関するアンケート調査について説明があった。

広島大学病院 笹木看護師から、小児がん患者が利用できる制度として、小児慢性特定疾患の患児に対する日常生活用具の給付事業があるが、申請から受給までに時間がかかるため、自治体の基金ですぐに使える物品等が準備されることは、特に終末期の患児にとっては大変効果的であるとの説明があった。また、各地域の社会福祉協議会では車いすを無料でレンタルできること（ただし、患児に合った小児用の車いすが準備されているとは限らない）等の説明があった。

このことについて、本日参加のあった中で特別な給付制度を持つ自治体は現時点ではなかったため、今後、何らかの方策をご検討いただければとの発言があった。

報告事項

1. 第7回小児がん拠点病院連絡協議会(H30.1.12) について

小林議長から資料1に基づき、1月12日開催予定の第7回小児がん拠点病院連絡協議会

の議事内容等について説明があった。連絡協議会の内容については、次回の本ネットワーク会議にて情報提供するとの説明があった。

2. 小児がん中国・四国ネットワーク会議検討事項

小林議長から資料2に基づき、第37回から第45回の本ネットワーク会議での検討事項について報告があった。

3. 看護カンファレンスおよび相談支援部会検討事項

広島大学病院 笹木看護師から資料3に基づき、昨年1月から12月に開催された中国・四国ブロックの小児がん看護カンファレンス及び相談支援部会での検討事項について報告があった。

4. 小児がん看護師研修会について

引き続き、笹木看護師から資料4に基づき、昨年10月26日・27日に広島大学病院にて開催した小児がん看護研修会について、以下の報告があった。

- ・ 今年度はCV管理について参加者とディスカッションを行い、プレパレーションを活用した介入等、CV管理に関して中四国で統一したケアに取り組むことを検討した。
- ・ 研修会のアンケートは概ね好評であり、来年度も引き続き研修会を企画したい。

5. 小児がんの子どもの教育セミナー(H30.3.17)について

小林議長から資料5に基づき、3月17日開催予定の「小児がんの子どもの教育セミナー」について、今回は高校生教育をテーマとして取り上げていることについて説明があり、興味のある方は是非ご参加いただくよう案内があった。

6. 医療機関・行政・患者会との連携について

始めにがんの子どもを守る会広島県支部から、中国・四国支部合同交流会、守る会から各県のがん対策計画への提言等について説明があった。

続いて、参加各自治体における小児がん対策への取り組み・検討状況について、以下の報告があった(山口県、徳島県、高知県における取り組みについては、資料6を参照)。

- ・ 鳥取県：小児がん医療従事者対象研修会、出張がん予防教室 等
- ・ 島根県：保育・幼稚園関係者への啓発活動、小児がん対策募金の活用、小児・AYA世代がん患者への実態調査 等
- ・ 岡山県：小児がんフォーラム、妊孕性温存治療に関する医療従事者対象研修会、がんサポートガイドの改訂 等
- ・ 広島県：妊孕性温存治療への支援事業、広島県がん生殖医療ネットワークとの連携による医療者向け研修、リーフレット作成 等
- ・ 愛媛県：小児慢性特定疾病児童等自立支援事業(NPO 法人を中心としたコンソーシアムへの事業委託)による相談支援 等

また、国際小児がんデー（2月15日）に合わせた啓発活動の一環として、岡山県では県庁の一角で展示を行うことを検討していることの報告があり、がんの子どもを守る会の支部がある5県では、行政と連携して啓発活動を進めていただきたいとの発言があった。

7. 今後の運営について

小林議長から、第3期がん対策推進基本計画にも言及されている、患者支援、長期フォローアップ、移行期医療、AYA世代への診療体制、就学・就労支援、妊孕性温存等の課題に対して、引き続きテレビ会議を通じて議論を進めていきたいとの説明があった。

8. 各施設の現況報告

鳥取大学医学部附属病院、島根大学医学部附属病院、岡山大学病院、川崎医科大学附属病院、岡山医療センター、倉敷中央病院、広島赤十字・原爆病院、山口大学医学部附属病院、徳島大学病院、徳島赤十字病院、香川大学医学部附属病院、四国こどもとおとなの医療センター、愛媛大学医学部附属病院、松山赤十字病院、高知大学医学部附属病院、高知医療センター、兵庫県立こども病院及び広島大学病院から、順次、各施設の診療体制や実績、患児への学習支援、他施設との連携状況等の現状と課題について報告があった。

9. その他

- ・ 次回のテレビ会議の開催予定：2月28日(水)
相談したい症例等あれば、早めに連絡をお願いしたい。
- ・ 来年度1月の会議の開催予定：平成31年1月12日(土)

平成 29 年度 ピアサポーター養成研修 報告書

開催日：平成 29 年 9 月 16 日（土）9：30～16：30

平成 29 年 9 月 18 日（月・敬老の日）9：30～16：30

※9 月 17 日は台風による荒天のため中止、18 日に変更した

会場：松山市男女共同参画推進センター（松山市三番町六丁目 4-20）

参加者：8 人 男性 1 人、女性 7 人（全員 2 日間修了）

内容：プログラム別紙

初日（9 月 16 日）

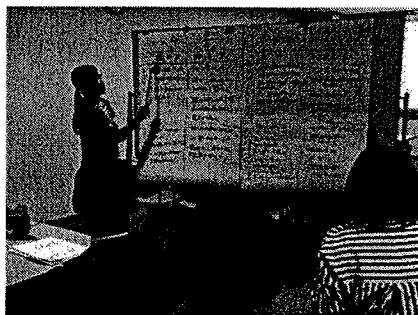
- ・「平成 24 年度厚生労働省委託事業 がん総合相談に携わる者に対する研修プログラム策定事業テキスト」を用いて、ピアサポートの基礎知識について学んだ。
- ・県内の病院サロン、町なかサロンの取組み内容や、それぞれの場でのピアサポーターの具体的な活動内容などについて学んだ。
- ・四国がんセンター名誉院長の高嶋成光先生から、がん医療の基礎知識についての講義を聞き、必要最小限の医学的知識を学んだ。
- ・四国がんセンター患者・家族総合支援室の関木裕美さんから、医療機関での相談支援の仕組みと、専門職とピアサポートの連携、県内のサロンの現状などについて学んだ。
- ・ピアサポーターが身に付けておくべき「聴かせていただく」ために必要な態度について学び、2 つに分かれてグループワークを行った。その中で、聴き手の対応によって話し手の気持ちに大きな影響を及ぼすことを実感し、ピアサポーターとしての役割の重要性を学んだ。

三日目（9 月 18 日）

- ・昨年の研修を受講し、現在活動しているピアサポーターから、具体的な取り組みや思いなどを語ってもらった。精神的な負担のことや、やりがいなどについて活発に質問が出された。
- ・ピアサポーターとして最も重要な「聴かせていただく」態度について、全員がロールプレイを行い、その後ビデオ撮影。客観的に自らの姿勢や発言を確認することで、課題と改善点を認識した。
- ・他の受講者の「いいところ」を書き出し、全員で交換し合った。他者の良い点に注目することで自らの振り返りにもつながった。

全体を通して

- ・台風による荒天のため2日目を順延としたために1人が仕事で欠席となり、後日(9月26日)に個別対応をして全員がすべてのプログラムを修了した。
- ・8人の受講者のうち7人が、今後の活動を希望している。早い時期にフォローアップ研修を実施し、愛媛県のピアサポート事業の充実に確実に繋がっていきたい。
- ・2日間で参加者同士が親しくなったようで、今後の活動でもお互いに支え合っていくことが期待できる。
- ・参加者の中に町なかサロン、病院サロンを利用した経験のある人が数人含まれ、ピアサポートが支えになったと語ってくださった。一層のピアサポーターの質の向上のためにも研修事業継続の必要性を痛感した。



平成 29 年度 ピアサポーター養成研修 プログラム

9 月 16 日(土)

時間		内容	担当講師
9:30~10:30	60分	オリエンテーション ピアサポートとは何か?	おれんじの会 松本陽子
10:30~10:40	10分	休憩	
10:40~11:40	60分	がん治療の基礎知識	四国がんセンター 名誉院長 高嶋成光先生
11:40~12:40	60分	昼食休憩	
12:40~13:30	50分	サロンの運営	おれんじの会 松本陽子
13:30~13:40	10分	休憩	
13:40~14:40	60分	ピアサポートと専門職との連携	四国がんセンター 患者・家族総合支援 センター 関木裕美さん
14:40~14:50	10分	休憩	
14:50~16:10	80分	ピアサポーターに求められる 基本的スキル Part1	おれんじの会 宮内美奈子
16:10~16:30	20分	まとめ	おれんじの会 松本陽子

9月18日（月・敬老の日）

9:30~10:20	50分	ピアサポートの現状 体験発表	おれんじの会 ピアサポーター 藤石智子さん
10:20 ~ 10:30	10分	休憩	
10:30~11:50	80分	ピアサポートに求められる 基本的スキル Part2	おれんじの会 宮内美奈子
11:50~12:50	60分	昼食休憩	
12:50~15:30	160分	ピアサポートに求められる 基本的スキル Part3 *途中休憩有り ・ピアサポーター実習 (VTR収録・自己確認)	おれんじの会 宮内美奈子
15:30~15:40	10分	休憩	
15:40~16:20	40分	“何でも質問”タイム ・質疑応答	おれんじの会 松本陽子 宮内美奈子
16:20~16:30	10分	まとめ	おれんじの会 松本陽子

町なかサロン 特別サロン 平成 29 年度

	年月日	回数	サロン名	日時	参加人数	月別人数)
1	4月	1	大切な人を見送った方のためのサロン	13日	4	
2		2	就活相談セミナー	16日	1	
3		3	がん患者さんを支えている妻夫のためのサロン	20日	4	
4		4	たこ焼きサロン	22日	8	17
5	5月	1	若年患者さんのためのサロン	13日	5	
6		2	大切な人を見送った方のためのサロン	16日	7	
7		3	がん治療と運動	20日	8	
8		4	就活相談セミナー	21日	1	
9		5	乳がん患者さんのためのサロン	27日	4	25
10	6月	1	町なか句会	3日	4	
11		2	大切な人を見送った方のためのサロン	8日	2	
12		3	悪性リンパ腫の患者さんと支える人のためのサロン	10日	17	
13		4	若年患者さんのためのサロン	17日	3	
14		5	就活相談セミナー	25日	1	
15		6	乳がん患者さんのためのサロン	29日	8	35
16	7月	1	アロマを楽しむサロン	11日	3	
17		2	大切な人を見送った方のためのサロン	15日	4	
18		3	就活相談セミナー	16日	1	
19		4	若年患者さんのためのサロン	17日	3	
20		5	がん患者さんを支えている妻夫のためのサロン	22日	1	
21		6	乳がん患者さんのためのサロン	29日	3	15
22	8月	1	大切な人を見送った方のためのサロン	10日	2	
23		2	自分らしい旅立ちのための医療とは	17日	18	
24		3	就活相談セミナー	20日	0	
25		4	若年患者さんのためのサロン	27日	2	
26		5	乳がん患者さんのためのサロン	31日	4	26
27	9月	1	いのちに向き合う②	7日	24	
28		2	ちぎり絵制作サロン	14日	0	
29		3	大切な人を見送った方のためのサロン	16日	3	
30		4	がん患者さんを支えている妻・夫のためのサロン	23日	0	
31		5	就活相談セミナー	24日	2	
32		6	乳がん患者さんのためのサロン	30日	6	35
33	10月	1	若年患者さんのためのサロン	1日	3	
34		2	大切な人を見送った方のためのサロン	12日	5	
35		3	町なか句会	14日	4	
36		4	就活相談セミナー	15日	1	
37		5	ちぎり絵制作サロン	17日	1	

38		6	がん患者さんを支えている妻・夫のためのサロン	21日	0	
39		7	乳がん患者さんのためのサロン	31日	15	29
	11月	1	がん患者さんを支えている妻・夫のためのサロン	11日	0	
		2	若年患者さんのためのサロン	12日	5	
		3	ちぎり絵制作サロン	16日	2	
		4	大切な人を見送った方のためのサロン	18日	4	
		5	就活相談セミナー	19日	2	
		6	町なか句会	23日	4	
		7	乳がん患者さんのためのサロン	25日	8	25
	12月	1	若年患者さんのためのサロン	3日	9	
		2	X' mas ミニミニリース作り	5日	8	
		3	大切な人を見送った方のためのサロン	14日	4	
		4	乳がん患者さんのためのサロン	21日	6	27
	1月	1	がん患者さんを支えている妻・夫のためのサロン	18日		
		2	大切な人を見送った方のためのサロン	20日		
		3	就活相談セミナー	21日		
		4	医療費控除を学ぶサロン	25日		
		5	乳がん患者さんのためのサロン	27日		
		6	町なか句会	28日		

29年4月～30年3月相談者総数

町なかサロン

年	月	サロン利用			件数			医療相談			件数			電話相談			件数		総数		特別サロン	
		本人	家族	その他	本人	家族	その他	本人	家族	その他	本人	家族	その他	本人	家族	その他	総件数	総人数	回数	人数		
平成29年	4月	5	2	1	7	1	1	0	1	3	2	3	8	16	18	4	17					
	5月	5	4	1	9	2	3	0	3	3	2	2	7	19	21	5	25					
	6月	9	4	1	13	3	2	0	3	8	3	1	12	28	31	6	35					
	7月	3	1	0	4	5	2	0	6	1	6	0	7	17	18	7	15					
	8月	7	1	0	8	4	1	0	4	7	0	0	7	19	20	5	26					
	9月	8	6	0	11	4	1	0	5	4	4	0	8	24	27	6	35					
	10月	6	0	1	7	5	4	0	7	5	3	1	9	23	25	7	29					
	11月	11	5	1	14	3	3	0	4	0	4	0	4	22	27	7	25					
	12月	9	0	0	8	2	3	0	3	3	0	0	3	14	17	4	27					
平成30年	1月																					
	2月																					
	3月																					
合計		63	23	5	81	29	20	0	36	34	24	7	65	182	204	51	234					

備考 特別サロン……部位別の会
遺族会
研修会等

平成28年度 がん診療連携拠点病院におけるがん相談支援事業等の実施状況

(平成28年度がん診療連携拠点病院機能強化事業)

	四国 がんセンター	住友別子 病院	済生会 今治病院	県立 中央病院	愛媛大学医学 部附属病院	松山 赤十字病院	市立 宇和島病院	合計
がん相談支援事業								
相談件数(件)	9,502	610	1,928	4,075	1,337	1,200	2,078	20,730
電話	8025	371	433	1,601	139	521	354	11,444
面談	1477	239	1,495	2,474	1,197	665	1,641	9,188
その他	0	0	0	0	1	14	83	98
セカンドオピニオン 医師の紹介	341	15	21	56	23	53	39	548
普及啓発・ 情報発信事業	病院ホームページやパンフレットによる広報、一般向け講演会の開催等	定期発行リーフレットによる情報提供、市民公開行事(講演会、相談会)等	市民公開講座の開催、患者サロンに小冊子を設置	市民公開講座の開催、がん情報センター作成冊子の配布、がん関連図書により、患者家族へ情報提供	市民公開講座の開催、患者サロン啓発コンサート、学術講演会、相談支援センターの広報活動等	患者説明用ウェブの購入、がん診療情報誌の制作、市民公開講座の開催、HIPでの情報提供等	関連図書、リーフレットの設置、サロンの取り組みの紹介等	
がん患者の就労に関する総合支援事業	社会保険労務士による就労支援事業(週1回)、社会保険労務士との連携による支援事業等	—	社会保険労務士・患者団体と連携し相談体制を整備、職員及び地域との連携施設向けに研修会を開催	—	社会保険労務士の無料相談(週1回)との連携、患者主催の就労相談階の周知、キャリアコンサルタントによる院内勉強会等	キャリアコンサルタントとの協働に よる相談支援を実施	毎月第4木曜日に相談会を開催	

●5 p～（第2章 本県の状況）

現状を知る基礎的なデータであり、特に県の計画である以上、全国の中での愛媛県の順位が分かる比較データを入れてもらいたい。男女の年齢調整死亡率のみ残っているが、前計画にはあった「部位別死亡率（県順位付き、前計画10p）」などもなくなっており、力を入れるべき分野が分かりにくい。

愛媛県は、がん以外のすべての死因を含めた都道府県別平均寿命も大きく順位を落としており（男性40位、女性35位、2015年）、県の健康対策が不足、または的外れではないかとの懸念もある。全国に比べ、どこが劣っているのか、どんな疾病が多いのかなど、データを基にした分析がなければ対策は立てられない。比較データの補強と、問題点の整理、分析を併せて求める。

●19 p 28行目（基本方針）

「3 予防・治療・共生まで」の「まで」はおかしい（「から」がないので）。

「県民総ぐるみによる」も、日本語として疑問がある。

「予防・治療・共生を柱とする、県民総ぐるみのがん対策の推進」などでいいのでは。

（71p34、37行目も同様）

●20 p 7行目（全体目標）

「本県の死亡率は、全国より高い（悪化）状況にある」にもかかわらず、年齢調整死亡率の目標値を「ただ現状維持で達成できる数字」に据えるのでは、あまりにも意欲が感じられず、対策の意味がない。平均以下の県である現状を、目標未達の検証もないままに、手をこまぬいて追認するような目標は、目標とは呼べない。せめて、予想される全国平均値を上回る意欲的な目標を掲げるべきだ。

●22 p 11行目～（たばこ対策）

前計画にはあった【目標】の数値部分がすべて削られ、ただのスローガンになっているので弱い。たばこに関しては国の動向待ちの一面もあろうが、せめて前計画を下回らない、県独自の意欲的な目標を掲げるべきだ。後ろの表に一括されてはいるが、「分野別」である以上、具体的な数値はできるだけ目標に入れてもらいたい。（分野別目標の他の項目も同じ）

● 46 p ~ (相談支援及び情報提供)

「緩和ケア」に比べ、【現状・課題】に数字が入っていない。相談件数や、サロン開催数、サポーター研修の受講者数など、ある程度は具体的に入れてもらいたい。

● 同 (「情報提供」について)

50 p 8行目「ポータルサイトの整備」が一番重要と考えるので、情報提供関連の話をまとめてはどうか。

8~10行目について、

「県は、愛媛県診療連携協議会がん登録部会で進めている『がん登録データを活用した情報提供サイト』等の構築を支援し、愛媛県内のがん治療に関わるすべての正しい情報をまとめたワンストップ窓口を整備し、がん患者及びその家族を含む県民が、いつでも必要な情報が得られる体制を構築します」

また、追記できるのであれば、

49 p 21行目「医療機能情報提供制度」や、検診とがん教育など複数項目にまたがっている「がん対策推進員」「ピンクリボンえひめ協議会」のさらなる活用など、がん情報に関する項目を列挙してもらいたい。

特に、推進員は1万人達成したから終わり、ではなく、せっかくの成果を生かして「啓発の役割を継続的に担ってもらおう」ための工夫に触れてもらいたい。協議会もつくって終わり、ではなく「情報網の有効活用を目指す」といった方向性を盛り込んでもらいたい。

● 70 p 27行目 (計画の評価)

「県が、県の計画の評価をする」だけでは漠然としていて、チェック機能が弱い。

国の計画に倣い、いつ(どの時点で)、どう評価し、その結果をどう生かすのか、といった点に言及してもらいたい。「がん対策推進委員会等の検証や意見を踏まえ」「次期計画の策定に反映する」といった実効性のある文言も盛り込んでもらいたい。

● その他

「平成35年度」の表記は、検討しなくてもよいか。

以上

- 20 p 7行目
年齢調整死亡率の目標値を、全国の直近の低下率に合わせて設定したのでは「目標」とならない。
例えば、2005年～2015年の年齢調整死亡率減少全国一となった奈良県の23.3%を目標とするなど積極的な取り組みが必要ではないか。
- 24 p 14行目（たばこ対策）
禁煙を希望する人への支援を追記
- 27 p 11行目（がん検診）
がん対策推進員の実態把握と活用について記載してはどうか。
10,000人の目標は達成しているが実働が不明。せつかくの民間の資源をもっと活用し実績を評価するような仕組みができればいい。
- 28 p 25行目（精度管理）
指針で定められていない検診については「対応を検討します」ではなく「適切に対応します」とすべきではないか。
- 31 p 3行目（手術療法）
5行目 「こうした医師等への負担を～求められています」までは35 p チーム医療の推進に記載されるべき。
手術療法に関しては、麻酔科医不足が影響している現状を記載すべきではないか。
- 45 p 12行目（がん登録 取り組むべき施策に追記）
愛媛県診療連携協議会がん登録部会で進められている、がん登録データを活用した県民への情報提供へ県からの支援について追記すべきではないか。
- 49 p 3行目（相談支援体制）
診断早期からの切れ目のない相談支援体制の構築とすべき。
4行目から5行目にかけてを以下のとおり修正
「がん検診から診断、治療、経過観察に至るまで、患者・家族が必要とする時に切れ目なく適切な相談が受けられるよう、・・・」

● 49 p 13行目 (相談支援窓口の周知)

周知すべきは、県民よりもまず患者・家族なので、(がん相談支援窓口の患者・家族および県民への周知) とすべき。

そのうえで、新たに以下を追記。

○拠点病院および推進病院は、診断早期のがん患者及び家族に対して相談支援窓口の情報を確実に伝え利用につながる体制を整えます。

● 53 p 25行目 (全人的な緩和ケアの提供)

新たに以下を追記

○県は、これまでの緩和ケアの提供に関する取り組みについて、がん患者・家族等を対象とした実態把握調査を実施し、質的な評価を行うことにより、緩和ケア提供体制の更なる充実と質の向上を図ります。

● 57 p 35行目 (在宅緩和ケアに関する情報提供)

・情報提供だけではないので、(在宅緩和ケアに関する相談支援と情報提供) とすべき。

新たに、以下の内容を追記すべきではないか。

○在宅緩和ケアコーディネーターの役割と存在を、広く患者・家族および県民に周知

※相談支援協議会で他委員の意見を確認する

○拠点病院等は、患者・家族が療養場所の選択肢として在宅療養を検討できるよう、できるだけ早い時期から情報提供を行う

● 61 p 16行目 (就労以外の社会的な問題への対応)

アピアランスと生殖機能を併せて記載しているが、生殖機能温存は別建てとして、以下の文言を追記してはどうか。

○生殖機能の温存について、拠点病院等は治療開始前に患者、家族に必要な情報を提供し、相談にあたる体制を整備する。

○拠点病院等は、卵子等の凍結保存のできる民間医療機関等と連携し、治療後に妊娠・出産を望む患者、家族の支援にあたる体制を整備する。

● 66 p 4行目 (小児・AYA 世代)

40歳未満の要介護者の在宅療養支援に関して、もう一步踏み込めないか。

○介護保険のサービスが利用できない40歳未満の患者が在宅療養を希望する場合、希望に応じて必要な支援が受けられるよう体制の整備を図る。

以上